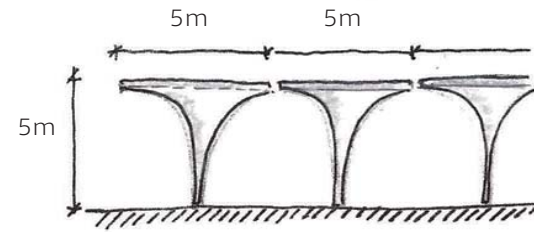
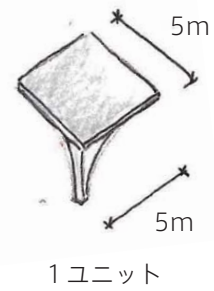


地域交流施設・休憩所

木のような形をしたユニットを使って交流施設、休憩所、あづまなどを計画します。緑を植えるようにユニットを配置することで、柔軟な配置計画が可能です。

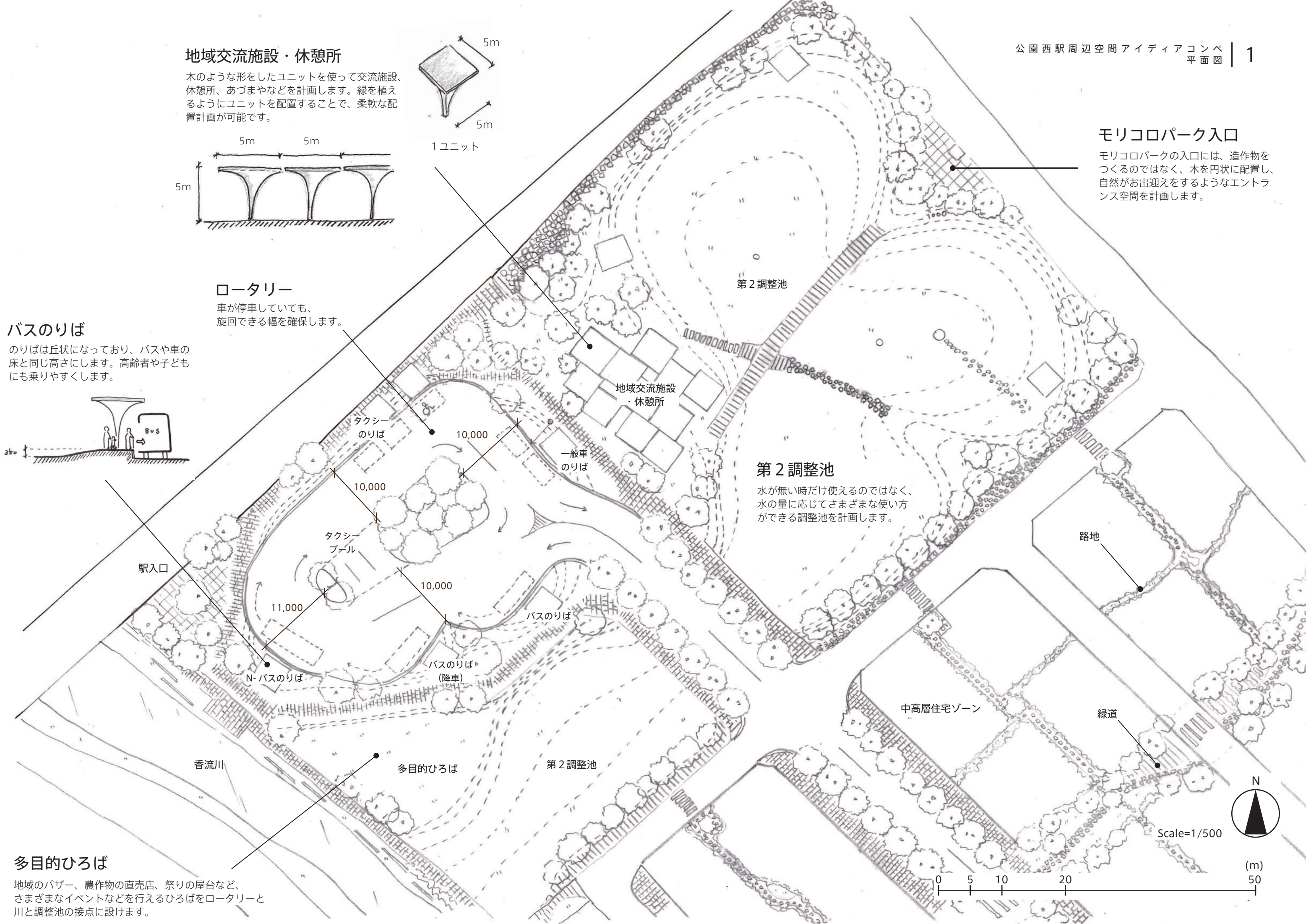
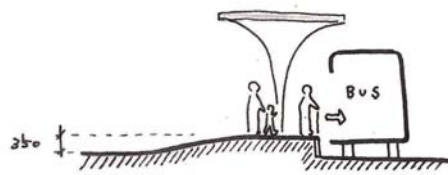


ロータリー

車が停車していても、旋回できる幅を確保します。

バスのりば

のりばは丘状になっており、バスや車の床と同じ高さにします。高齢者や子どもにも乗りやすくします。



モリコロパーク入口

モリコロパークの入口には、造作物をつくるのではなく、木を円状に配置し、自然がお出迎えをするようなエントランス空間を計画します。

第2調整池

第2調整池

水が無い時だけ使えるのではなく、水の量に応じてさまざまな使い方ができる調整池を計画します。

路地

中高層住宅ゾーン

緑道

香流川

多目的ひろば

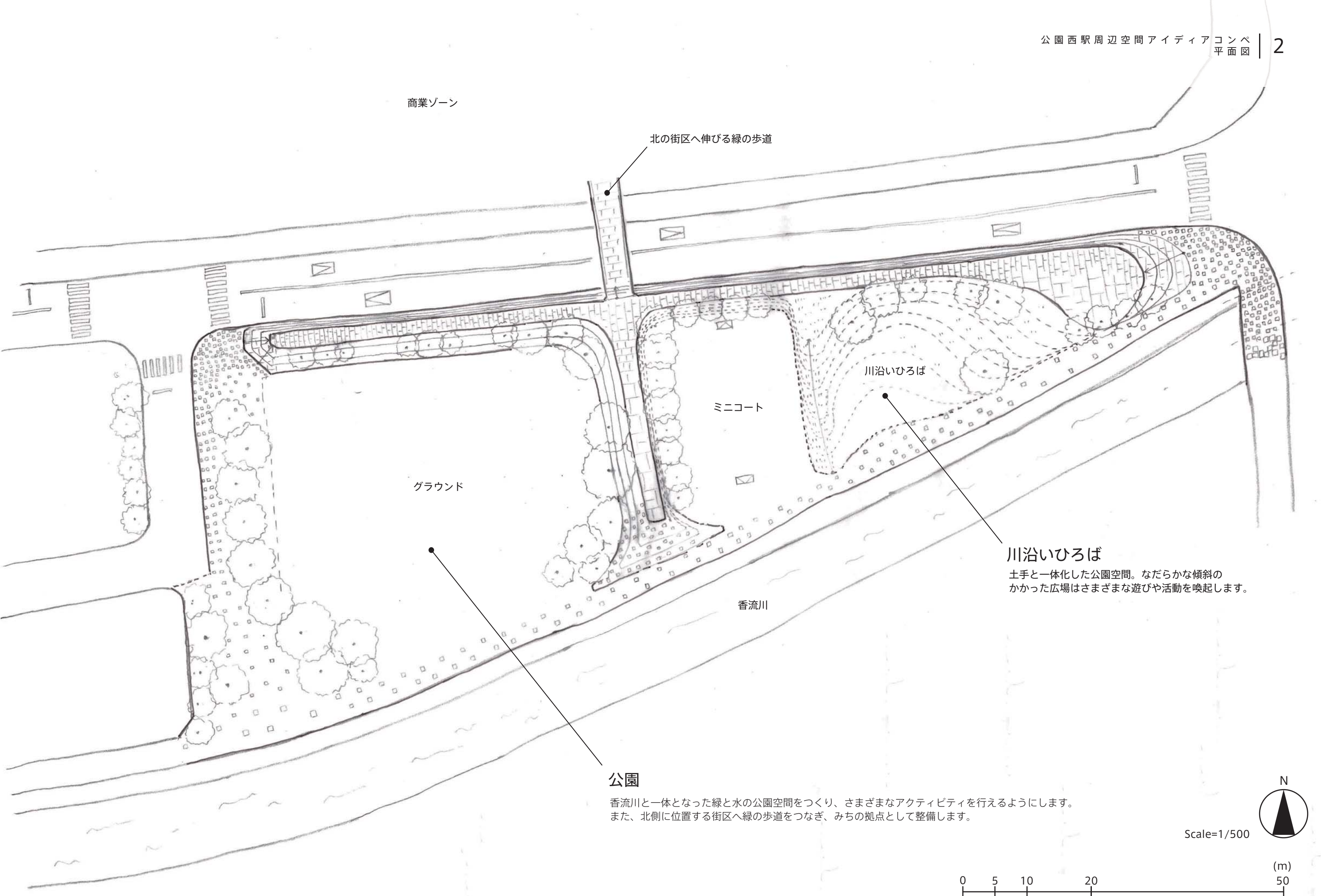
第2調整池

多目的ひろば

地域のバザー、農作物の直売店、祭りの屋台など、さまざまなイベントなどを行えるひろばをロータリーと川と調整池の接点に設けます。

Scale=1/500





商業ゾーン

北の街区へ伸びる緑の歩道

川沿いひろば

ミニコート

グラウンド

川沿いひろば

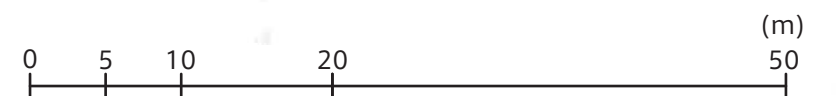
土手と一体化した公園空間。なだらかな傾斜のかかった広場はさまざまな遊びや活動を喚起します。

香流川

公園

香流川と一体となった緑と水の公園空間をつくり、さまざまなアクティビティを行えるようにします。また、北側に位置する街区へ緑の歩道をつなぎ、みちの拠点として整備します。

Scale=1/500



香流川

香流川の土手に緑道を作り、川を新たな歩行空間の中心軸として整備します。

緑道

香流川の歩道を軸として、緑道を愛地球博記念公園へ向けて伸ばします。さらに緑道から各敷地の合間を縫うように路地空間を伸ばし、この道からも各敷地へアクセスすることができますようにします。。

路地

路地は子どもは近所の見守りがある中で安全に遊ぶことができ、大人は近所の人と井戸端会議ができるような「私」と「公」の間のコミュニティ空間です。

中高層住宅ゾーン



Scale=1/300

